



公立芽室病院 第104号 だより

ホームページアドレス
http://memuro.com
または芽室町ホームページのトップ
ページからアクセスできます。

十勝管内初、最新式1470nm^{ナノメートル}血管内レーザー焼灼術始まる

公立芽室病院院長 小窪 正樹

下肢静脈瘤に対する根治手術と言えば、専門医の誰もがこれまでストリッピング手術と答えていました。しかし、レーザー焼灼術の台頭により、その地位が揺らぎ始めています。ストリッピング手術は、逆流している不要な伏在静脈を抜去する方法ですが、レーザーは抜去する代わりに血管内面を焼灼して逆流を止め閉塞させてしまう方法です。欧米諸国では、ストリッピング手術に匹敵する根治性が示されるようになりました。本邦においても、2011年1月より波長980nmのレーザーが保険収載され、あちらこちらでレーザー焼灼術が行われるようになりました。十勝管内でもすでに開始している施設があります。しかし、この980nmレーザーは、ストリッピング手術以上に出血、疼痛、血栓形成など問題となることが多く、欧米諸国では医療訴訟も散見され、決して満足できるものとは言えませんでした。当院では、980nmレーザーの採用を控えておりました。

しかし、レーザー治療もその後発達を遂げ、上述した合併症を大幅に改良した波長1470nmのレーザーが登場し、2014年5月、遂に保険収載されたのです。待ちに待ったレーザーと言うことで、当院では今年8月、この最新式レーザーを購入しました。道内では2台目、勿論、十勝管内では初のレーザー治療器であります(2014.8.21時点)。

従来の980nmレーザーと最新式1470nmレーザーとの違いを表にしてみました(表1)。

	980nm	1470nm
レーザー照射方法	先端から前方へ	2箇所から円周性に全周
レーザー光の吸収	赤血球	静脈壁の水分
痛み	>>	>>
皮下出血	>>	>>
神経障害	>	>
術後血栓症	>	>
手術時間	=	=
傷痕	=	=
家事労働	手術当日から	手術当日から
車の運転	翌日から	翌日から
肉体的労働	3日後から	翌日から

(表1) 980nmレーザーと1470nmレーザーとの違い

980nmレーザーはベアファイバーといって、先端から1本のレーザーが出て血管内面を焼灼します。この波長980nmのレーザー光は、ヘモグロビンに吸収され赤血球を熱変性して間接的に静脈壁を焼灼し閉塞させます。こ

れに対して1470nmレーザーは、2箇所から360度全周性にレーザーが放射され、均一に焼灼します。さらに波長1470nmのレーザー光は、静脈壁内の水分に吸収され、直接静脈壁を熱変性し閉塞させます。上述した照射メカニズムと波長特性の違いにより、980nmレーザーは血管を穿破したり(皮下出血を生じる)、焼けない部分が出て血栓を作ってしまう欠点がありますが(血栓性静脈炎による疼痛発症)、1470nmレーザーは、血管穿破や血栓形成がほとんどないため疼痛と皮下出血が約1/10程度に減少し静脈閉塞が確実になったのです。1470nmは980nmレーザーの欠点を補った画期的装置と言えます。

レーザー治療における重篤な合併症として、0.1%以下の頻度でEHT(静脈内熱誘導血栓症)による肺塞栓症が報告されています。最新式1470nmレーザーでは、まず心配ないと報告されていますが絶対というわけではありません。当院では、この重篤な合併症を確実に回避するため、高位結紮術(逆流血管の根元を結紮)を行った上でレーザー焼灼術を行っています。高位結紮術はEHTを抑えるだけでなく、再発予防にも有効です。さらにEHT発症時の種々治療費を考慮すると、医療経済的にも優れていると考えられます。

病院によっては、静脈本幹をレーザー焼灼するだけで、瘤を切除しない施設がたくさん見られます。しかし、表在静脈瘤を放置しますと美容的に良くないだけでなく、血栓や色素沈着を生じることがあります。当院では、表在静脈瘤に対してStab Avulsionを追加します。これは針穿刺(美容を考慮した針による穿刺法。全国では珍しい)の穴から特殊な器械により瘤を切除する方法ですが、針穴のため傷跡はほとんど残りません。尚、レーザー焼灼術に高位結紮術とStab Avulsionを併施しても費用は同じです。

最後に、1470nmレーザー焼灼術と日帰りストリッピング手術との適応についてですが、極力、患者さんの希望に合わせて決定するようにしています。レーザーの最大の利点は、仕事開始が翌日より可能になることです(ストリッピング術は3日後から可能)。また、血液をサラサラにする薬を使っている患者さんの場合は、出血の少ないレーザーがストリッピングに優ります。根治性に関してはほぼ同等ですが、レーザーファイバーが通らないような拡張蛇行の強い症例、重複伏在静脈など、総じて重篤症例はストリッピング手術の方が良いでしょう。皆さんの来院をお待ちしております。

内科外来診療体制の変更について

10月1日から、月曜と金曜の診療体制が変更になります。唐澤内科診療部長と伊井内科診療部長が入れ替わります。診療時間の変更はありません。

受付時間 午前7時45分～午前11時30分 午後0時30分～午後4時30分
診療時間 午前8時45分～午後0時30分 午後2時00分～午後5時15分

区分	月	火	水	木	金	
午前 (8:45～)	第1診察室	宮本	宮本	田中 (完全予約)	宮本	田中
	第2診察室	高橋(邦)	田中	高橋(邦)	伊井	高橋(邦) (完全予約)
	第3診察室	唐澤	唐澤	唐澤	唐澤	伊井
午後 (2:00～)	第1診察室	伊井	休診	佐藤	休診	唐澤

公立芽室病院のインフルエンザ予防接種について

10月28日(火)から来年1月29日(木)までの期間、季節性インフルエンザの予防接種を行います。事前予約制となっており10月14日(火)から予約受け付けを開始します。

■内科(高校生以上)

接種日：火曜日、木曜日

受付：午後2時30分～午後3時

接種：午後3時～午後4時

料金：2,500円

■小児科(生後6か月から中学3年生)


接種日：木曜日

受付：午後3時～午後3時30分


接種：午後3時30分～午後4時30分

料金：4,000円(1回2,000円およそ4週間間隔を目安に2回接種します)

申込み、問い合わせは医事係までお願いします。☎62-2811



めむろ☆育児サークル
「はぐ Hug」
ご案内



- ・妊娠中の方、子育て中の方、そのご家族などどなたでも参加OK
- ・助産師・保育士も毎回参加しています。妊娠中から出産後の疑問、不安なこと気軽に何でもきくことができます。

場所：公立芽室病院 3階研修室
日時：毎月第1・第3水曜日(10時30分～11時30分)
参加費：100円

予定しているテーマ

- 11月5日 マタニティカフェ～子育て座談会
お産に向けてママの体を整えるには。助産師によるお産の話
- 11月19日 絵本とおもちゃの選び方
子供にとって良いおもちゃとはどんなおもちゃでしょう?
- 12月3日 マタニティカフェ～魔法の質問
あなたはどんなお産を望みますか?質問を通して私らしいお産のカタチを考えてみましょう
- 12月17日 骨盤の話(トコちゃんベルト体験会)
骨盤の歪み、実は妊娠前から整えることが大切。もちろん産後も大切。助産師の話とトコちゃんベルトの体験

公立芽室病院患者満足度調査について

医事係 吉田 かおり

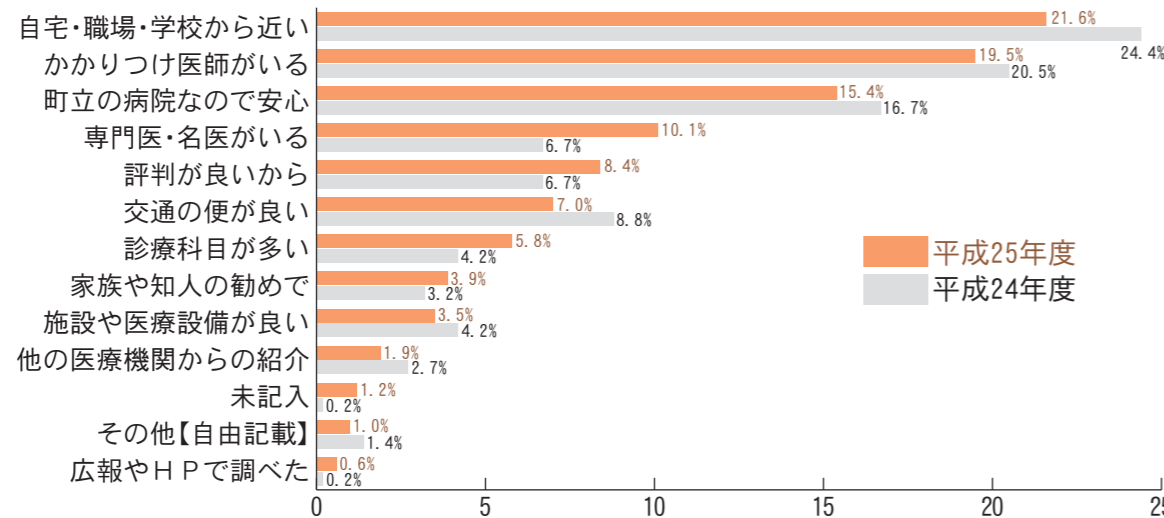
当院では、昨年に続き平成26年3月12日～14日の3日間、2回目の患者満足度調査を行いました。病院を利用されている方が、どのように感じ、何を求められているかをお聞きし、改善を図り、より良い病院づくりに繋げていくことを目的としています。

調査方法は、アンケート形式とし、入院患者・外来患者さんを対象としました。設問は、治療・医師や職員の対応・施設・環境等についての5段階評価(満足、やや満足、ふつう、やや不満、不満)の設問、該当する答えを選んでいただく設問、不満や期待することについての自由意見の構成としました。また、入院は食事、外来は待ち時間の設問も加えています。

平成25年度、当院の1日平均入院患者は約110人、外来患者数は約338人となっています。回収結果は、入院50枚、外来246枚となりました。

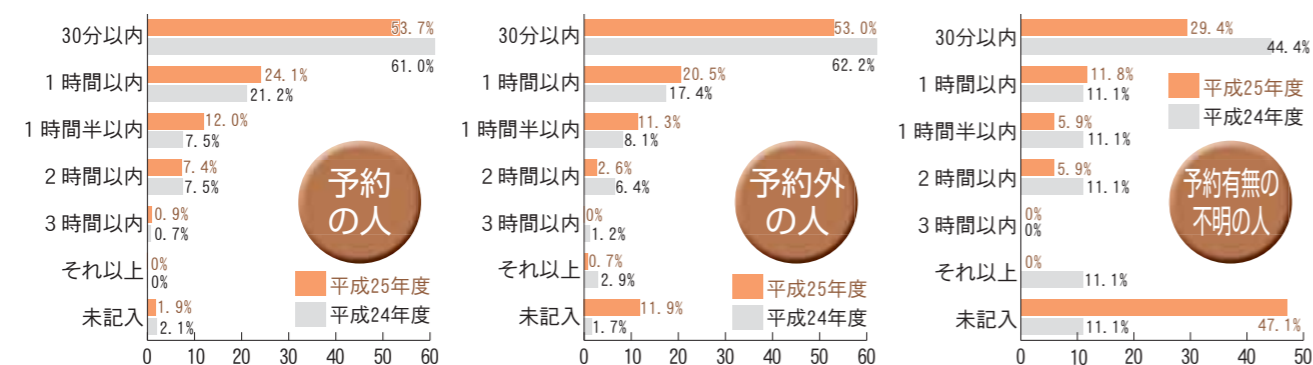
調査に御協力いただきました患者さん及び御家族の皆さんには、心より感謝申し上げます。ここに、調査結果を御紹介いたします。

■この病院を選ばれた理由(外来)



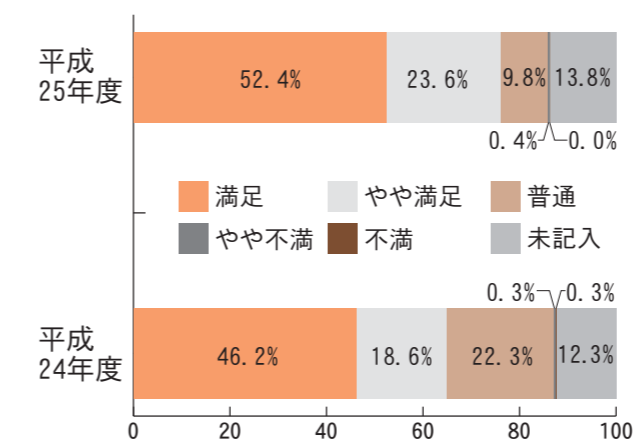
解説：昨年と比較すると「専門医・名医がいる」3.4ポイント、「評判が良いから」1.7ポイント、「診療科目が多い」1.6ポイント上昇しています。また「かかりつけ医がいる」、「自宅・職場・学校から近い」という理由は前年同様、高い割合となりました。

■診療待ち時間はどれくらいでしたか(外来)



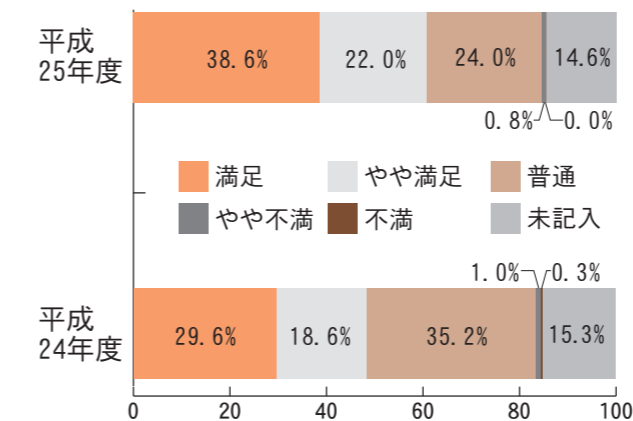
解説：「予約」、「予約外」、「予約有無の不明」全てにおいて「30分以内」の回答の割合が減少しています。現在、内科・整形外科(水曜日のみ)・歯科が予約制となっています。科別にみまると、内科では予約時間から「30分以内」に診療が受けられると回答した方は昨年37.1%でしたが、今年は39.7%と2.6ポイント上昇しており、予約制の効果ができていると考えられます。受付後にすぐ診察に入る場合と受付後検査を行ってから診察に入る場合がある等、個々の患者さんによって対応が異なるため、一律に判断できないところです。患者さんの受け取り方にも差があるようです。

■病状に対する処置や治療はいかがでしたか(外来)



解説：外来について76%の方が「満足」「やや満足」と回答し、前年度と比較して約11ポイント上昇しています。入院については82%となっており、前年度と比べて約5ポイント減少しています。

■掲示板や案内板のわかりやすさはいかがでしたか(外来)



解説：昨年度は「普通」と回答している方が35.2%と最も多くの割合を占めていましたが、約60%の方が「満足」「やや満足」と回答しました。

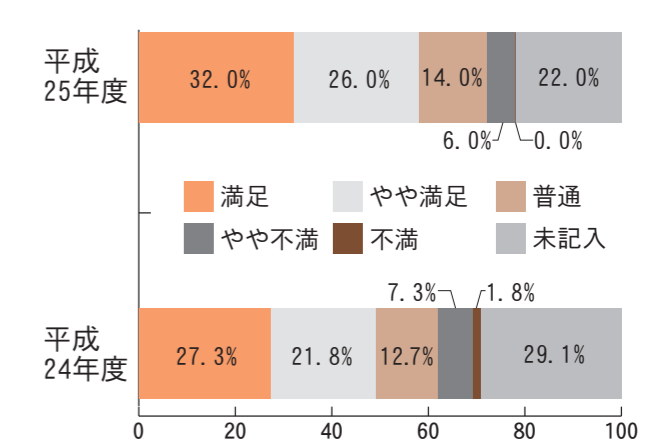
■自由記載について

診察、看護師や職員の接遇についての感謝の言葉、待ち時間の改善、設備面の改善、新たな診療科の開設に関する声などが寄せられました。

今回の満足度調査を総括すると、入院では「満足」「やや満足」の回答は医師や職員分野は80%弱、施設分野は60%弱、食事分野は50%台、外来では医師や職員分野は70%強、施設分野50%台となりました。医師や職員分野は、資質の向上を目指し、日頃より業務を振り返り、研修・研鑽を重ねている結果だと考えられます。施設分野は経年劣化の課題もあり、低い結果となりましたが、環境・効果・費用・優先順位を鑑みたくて対応を検討する必要があります。加えて、待ち時間の調査、一部自由記載の中から当院の課題が浮き彫りとなりました。

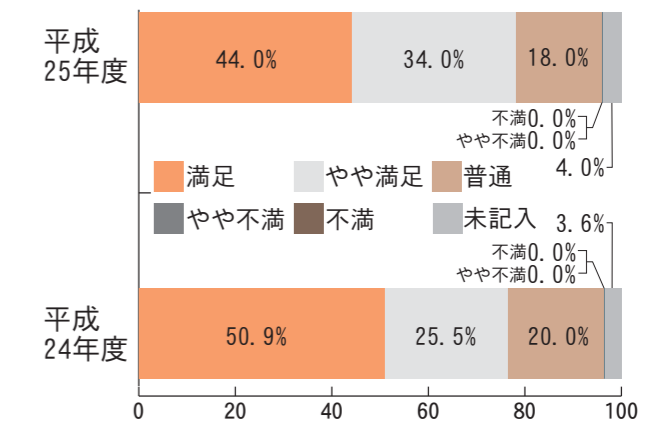
この結果で満足することなく、職員で課題を共有、検討・改善し、良い病院づくりにつなげていきたいと思えます。報告書は病院受付にて配布しております。興味を持たれた方は、ぜひ御覧ください。

■食事全般について満足できましたか(入院)



解説：「満足」、「やや満足」を合わせると約58%、前年度比約9%ポイント増となっています。個別の設問「食事の温度」「内容」「食べた量」「盛り付け」「食器の清潔さ」においても前年度と比べて高い評価につながりました。

■総合的評価について(入院)



解説：「満足」、「やや満足」を合わせると約78%で前年度比約2ポイント増となっています。外来では、約76%で前年度比約5ポイント増となっています。